

宗像大社おきつみや沖津宮

(沖ノ島・こやじま小屋島・みかどばしら御門柱・てんくわ天狗岩)

沖ノ島は、島全体が宗像大社を構成する3つの宮の1つであり、沖津宮の境内には、宗像三女神のたごりのめのかみ田心姫神が祭られています。南東に約1キロメートル離れた3つの岩礁は、天然の鳥居の役割を果たしています。

日本が盛んに対外交流を行うようになった古墳時代の4世紀後半から、沖ノ島に宿る神に対して航海の安全を祈る祭祀が行われました。ヤマト王権の下で古代豪族宗像氏が祭祀を行い、沖ノ島への自然崇拜は宗像三女神への信仰へと高められ、沖ノ島・大島・九州本土の3宮から成る宗像大社が成立しました。「神宿る島」として守られてきた沖ノ島には、島内の巨岩群周辺に500年にわたる古代国家間の交流を反映する祭祀の跡が手付かずの状態に残され、古代における日本の信仰や対外交流のあり方を知る上で非常に高い価値があります。

※世界遺産登録後も、沖ノ島へは渡島することはできません。



古代祭祀遺跡の変遷



がんじょうさいし
岩上祭祀遺跡

(4世紀後半～5世紀)

巨岩の上に大量の銅鏡を納めた跡や祭壇を築いた跡が見つかっています。

いわかげさいし
岩陰祭祀遺跡

(5世紀後半～7世紀)

せり出た巨岩の下に海外からもたらされた貴重な品々などが納められました。



はんいわかげ はんろてんさいし
半岩陰・半露天祭祀遺跡

(7世紀後半～8世紀前半)

岩陰と露天にまたがる段階で、祭祀の内容も大きく変化する過渡期です。

ろてんさいし
露天祭祀遺跡

(8世紀～9世紀)

巨岩から離れた平坦地に大量の奉獻品が残されています。



沖ノ島を知る・感じるための展示施設

宗像大社神宝館

沖ノ島の学術調査で発見された奉獻品約8万点(全て国宝)をはじめとして、宗像大社に伝わる神宝類を収蔵・展示しています。

所在地／宗像市田島2331(宗像大社辺津宮境内)

開館時間／9時～16時30分(最終入館16時)

※年中無休

拝観料／一般800円、
高大生500円、小中生
400円(割引料金あり)

問い合わせ／

☎ 0940-62-1311

☎ 0940-62-1315



金製指輪(国宝)

海の道むなかた館

遺産群のガイダンス施設を兼ねた宗像の歴史と文化を紹介する施設です。沖ノ島の神秘的な雰囲気音を音と映像でリアルに体験できる3Dシアターが人気です。

所在地／宗像市深田588(宗像大社辺津宮前)

開館時間／9時～18時

※月曜日は休館(月曜日が
祝日の場合は翌平日)

入館料／無料

問い合わせ／

☎ 0940-62-2600

☎ 0940-62-2601

